

ITER機構で国際プロジェクトに従事する事

2022年6月

大前敬祥
ITER機構 首席戦略官

自己紹介

- 大前 敬祥（おおまえ たかよし）
- 首席戦略官・機構長副官房長（2018年4月～）
- 日系情報通信企業>外資系戦略コンサルティング
- 専門：グローバル x テクノロジー x 経営戦略
- 40代 家族帯同：子供3人（高校生、小学生x2）



[@takaomae](https://twitter.com/takaomae)



www.linkedin.com/in/takaomae

今日お話しすること

- ITER計画とは？
- ITER機構で働く醍醐味、やりがい
- 業務の特徴・特色について
- 待遇・処遇について
- キャリアについて
- 生活環境について
- 質疑応答



全てのエネルギーの源である太陽

地上に太陽をつくる

アイデアから現実へ、競争から協調へ



1985年11月ジュネーヴサミット：
米国レーガン大統領 - ソ連ゴルバチョフ書記長会談

- 1988年-1990年：概念設計活動
- 1992年-1998年：工学設計活動
- 2001年-2005年：建設サイト選定

世界人口の50%、グローバルGDPの85%を 占める世界7極35カ国によるITER発足



- 2005年6月: 建設サイトがフランスに決定
- 2006年11月: パリにてITER協定調印

China EU India Japan Korea Russia USA

ITER計画とは、核融合エネルギーが科学技術的に成立することを 実証する為、人類初の核融合実験炉を実現しようとする世界7極 35カ国で行う地球上最大の超大型国際プロジェクトです



ITER機構で働く醍醐味、やりがい

- 大きな意義のある社会課題解決事業
 - 「エネルギー問題」を解決、結果的に様々な課題を解決
 - 数百年後に歴史を振り返り、人類史上最も大きなインパクトのひとつになりうる
- 人類の未来に役立つ最先端科学技術プロジェクト
 - テクノロジー主導で社会変革を起こす
 - 宇宙開発と並ぶ人類のフロンティアへの挑戦
 - 研究開発の段階から社会実装の段階への移行期
- 国際協力に基づく高度な知的チャレンジ
 - 真のグローバルフィールド(外資でも日系企業海外事業でもない)
- 自身の専門性を活かし、伸ばせる環境



毎日が国際協力

業務内容の特徴・特色

- 最先端のテクノロジーを元に、「挑戦」することが仕事
- 圧倒的な多国籍・多様性の中での業務環境
- 多様性の尊重を元にした、チームカルチャー
- 英語は共通言語(但し母国語が非英語圏出身者がマジョリティを占める)
- 個の専門性を尊重するプロフェッショナルな環境
- オンとオフのメリハリの効いた職場
- 民間のスキルが生きる(重宝される)

待遇・処遇について

- 国際公務員としての国際競争力のある総合パッケージ
 - 通常国際機関の契約2年に対し、最長5年
- (絶対値以外の労働環境を考慮した場合)対日本都市圏勤務比で恵まれた待遇
 - 生活コストは欧州都市部に比べ非常に廉価
- 国際機関として優れた社会・医療保障制度

キャリアについて

- ITER計画の進捗に沿って契約更新は可(10年～の人生計画も可)
- ITER機構内でのキャリアアップも、プロジェクトの進捗・ニーズに合わせてスキルアップすれば可
- 5年～10年後に他企業(日本・海外)へのキャリアアップは無論可(専門性のブラッシュアップ+国際プロジェクト経験)
- 日本における核融合原型炉への貢献も可
- 世界ではフュージョン/核融合が宇宙に続く新しいTechフロンティアとして興隆(含:スタートアップ業界)、そこへの挑戦も視野



生活環境について

- 自然環境に恵まれた温暖な気候、災害リスクが低い
 - 四季に恵まれた欧州における移住候補地(南仏プロヴァンス)
- (対日本3大都市圏比で)恵まれた通勤・居住環境
 - 自家用車通勤(20~40分程度)、又はITER専用通勤バス(無論座って)
- 欧州都市部に比して相対的に廉価(住宅費の差分が大きい)、治安も良好
- (子育て世代には)少子化食い止めに成功したフランス国策の恩恵で、子育て費用がほぼ無料、学童などアフタースクールの面倒も廉価
 - ITER国際学校(いわゆるインターナショナルスクール)への優先入学、学費無料
- 農業国として恵まれた食産物(農産・畜産・海産)、日本食も入手可能
- フランス語ができなくても生活には困らない

我が国の核融合ロードマップ

ITERの先

商用炉

原型炉

実験炉

研究炉

ITER 計画

500MW
フュージョンエネルギー

デモ
発電実証

エネルギー問題の解決

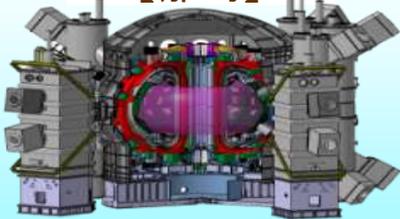
JT-60
プラズマ達成



連携

幅広いアプローチ(BA)

【那珂】



サテライトトカマク
(JT-60SA)

【六ヶ所】



IFMIF 及び IFERC

原型炉へ向けた
エンジニアリング、
枠組み、安全規制など

Note*: Sustainable Development Goals

